

校長あいさつ

本校は、明治 37(1904)年に糸満村立水産補習学校として創立され、その後、那覇市住吉、本部町、那覇市泊と移転し、昭和 51 年に再び糸満市に戻り、今年度で 119 年目を迎えます。

「自主独立」「団結融和」「実践躬行」の校訓のもと、国内外で活躍している優秀な人材を輩出してきました。

部活動での本校生徒の輝かしい栄光を紹介しますと、昭和 59 年に野球部が「甲子園」に初出場以来、連続 5 カ年出場の記録やその後 2 年連続準優勝という甲子園史上初の快挙を成し遂げました。また、カヌー競技では全国制覇をはじめ、世界選手権大会 3 位入賞や 2 名のオリンピックを輩出しております。ボクシング競技でも全国制覇や卒業後プロスポーツにおいて世界チャンピオンになる人材を輩出しています。

校名が示すとおり水産の専門高校でありましたが、平成 6 年度に「総合学科」も導入しました。現在、海洋技術科（1 クラス、2 類型）、海洋サイエンス科（1 クラス、2 類型）、総合学科（4 クラス、6 系列）の一学年 3 学科 6 クラス体制になっています。

本県唯一の専攻科には 3 級海技士養成校として漁業科、機関科を、また無線従事者養成のため無線通信科を設置しております。

スクールミッションとして「専門教育を通し、自己の在り方生き方を考え、地域に貢献できるよう主体的に進路を選択する生徒の育成」、「創造とチャレンジ精神にあふれる、社会に貢献できる生徒の育成」を掲げており、魅力ある学校づくりを推進するとともに地域社会や産業界の期待に答えられるよう人材育成に職員一同取り組んでいきます。

令和 5 年 4 月 1 日

沖縄県立沖縄水産高等学校

校長 大山 正吾